



# 高速しが

令和8年  
(2026)  
3月号

発行 滋賀県高速道路交通警察隊・滋賀県高速道路交通安全協議会

## シートベルトは全席着用！

車で走行中、乗車している人は車と同じ速度で進んでいます。車が急に止まれないように人の体も急には止まれません。

特に高速道路では時速100キロメートルという高速で走行するため、シートベルトをしないで衝突した場合、その衝撃を支えきれずハンドル、フロントガラス、左右のドア等に打ち付けられてしまいます。後部座席では、前席、フロントガラス、後部ガラス等思わぬ方向へ飛ばされ車内に打ち付けられ、時には窓ガラスを突き破ったり、開いたドアから車外に放出されることもあります。

車外へ放出されると路面へ打ち付けられる衝撃の大きさや、後続車に撥ねられるなどして死に至るケースもあります。

後ろの席でも忘れずに  
シートベルトを  
締めましょう！



また、運転者を含む同乗者がシートベルトを着用していない場合は運転者に違反点数1点が付されます。

## シートベルト・チャイルドシート着用注意点

- " シートに深く腰掛け、体を斜めにせず正しい姿勢になっていますか？
- " 肩ベルト（3点式ベルトの場合）は、首にかかっていませんか？
- " 腰ベルトは骨盤を巻くように締めていますか？
- " 座席に確実に固定されていますか？
- " 子どもの成長に合わせた体格にあうものを使用していますか？

**正しく着用することで被害を軽減できます**

# 高速道路は危険が一杯！

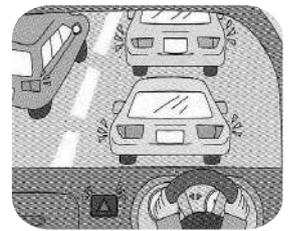
高速道路は、一日平均数万台の車両が、時速100km前後の高速で走行する特殊な道路です。

事故や故障等でやむを得ず本線上や路肩に停車したときに、一般道と同じように道路上に出るなどの行動をすると思わぬ事故に巻き込まれる恐れがあります。

緊急時、やむを得ず本線上や路肩等で停車するときは、交通事故に遭わないよう次のことに注意しましょう。

## 事故や故障で緊急停車したときは

- ◇ ハザードランプを点灯し、可能な限り車を路肩に入れる。
- ◇ 追突防止のため三角停止板や発炎筒を利用する。
- ◇ 救援を待つ間は、ガードレールの外など安全な場所に避難する。
- ◇ 路肩や本線上で事故当事者同士の話し合いをしない。
- ◇ 路肩でパンク修理やタイヤチェーンの脱着をしない。
- ◇ 本線上は絶対に横断しない。
- ◇ トンネル内では、非常停車帯に停車させるか、可能な限りトンネル外の路肩に移動する。



高速道路の『路肩』は  
安全な場所ではありません！

事故等の非常時には、ハザードランプを点灯し、やむを得ない場合を除き発炎筒や三角停止板を使用した後、停車した車から素早く離れ必ず高速道路外(ガードレールの外)へ避難してください。